

業務紹介

～国営土地改良事業地区調査「浅瀬石川二期地区」～

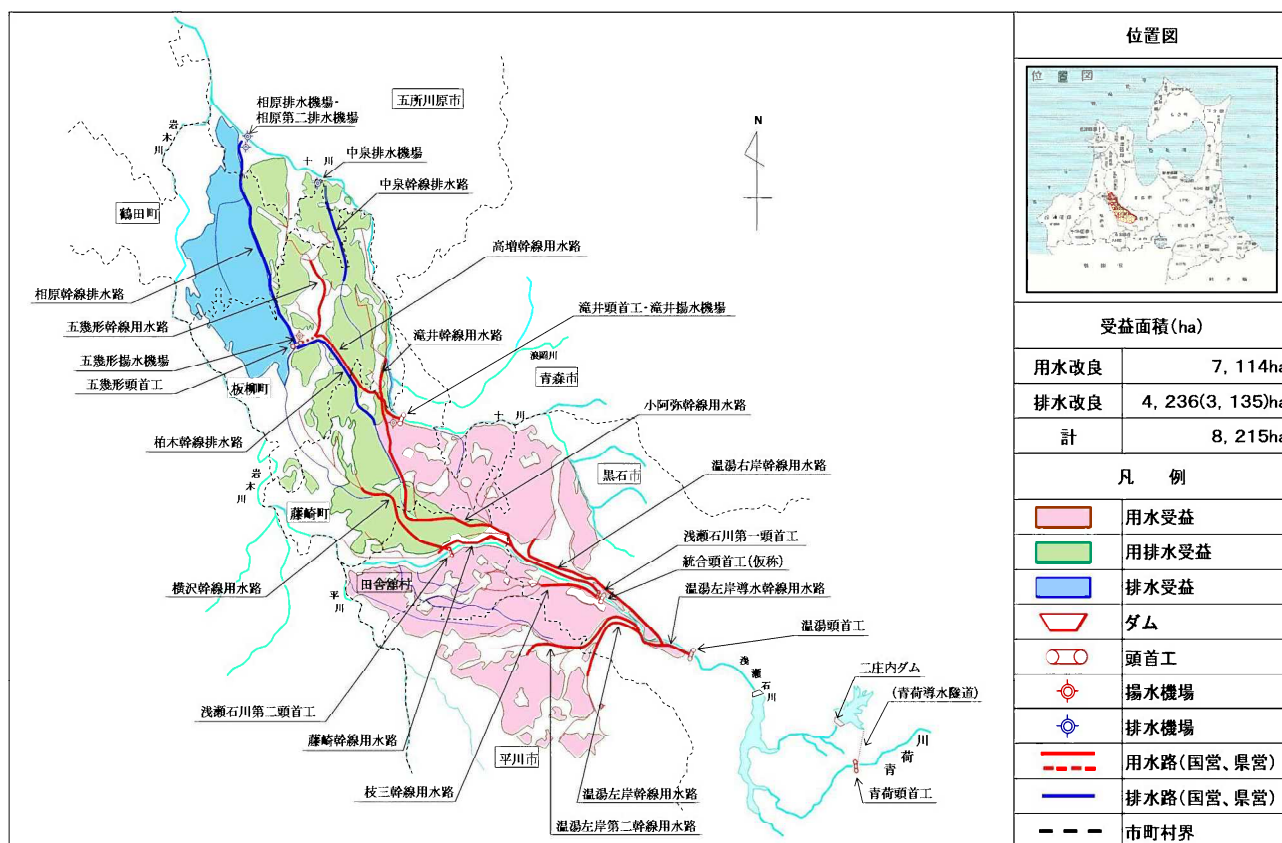
本地区は、平成 27 年度より国営土地改良事業地区調査に着手し、事業計画策定に向けた各種調査を本年度も引き続き実施します。ここでは、地区及び調査の概要について紹介します。

1. 地区概要

本地区は、青森県南西部に位置し、一級河川浅瀬石川沿岸の青森市他 3 市 3 町 1 村にまたがる農業地帯です。

昭和 50 年度から平成 7 年度にかけ国営浅瀬石川農業水利事業により造成された基幹水利施設は、水源である二庄内ダムをはじめ、頭首工、揚・排水機場、幹線用・排水路等がありますが、完成から 30 年以上を経た施設や昭和 40 年代に造成された浅瀬石川第一・第二頭首工においては、老朽化が著しくなっており、農業用水の安定供給及び排水機能に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。

このことから、施設の統廃合を含めた広域的な用水計画の再編を行うとともに、老朽化が進行している農業水利施設の改修を行うことにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持及び維持管理の軽減を図り、農業生産の維持と農業経営の安定に資する整備が必要となっています。



業 務 紹 介

2. 平成 28 年度調査の概要

今年度は、事業計画に関わる営農計画、施設計画、経済効果及び用水再編整備計画に伴う用水計画の検討、改修する頭首工の設計及びダム等の付帯施設の検討を行う予定としています。



▲温湯頭首工

3. 国営浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会

浅瀬石川二期地区の事業推進を目的として、平成 26 年 5 月に本地区の関係団体（関係市町村、津軽平川土地改良区、浅瀬石川土地改良区）により「浅瀬石川二期地区土地改良事業促進協議会」が設立されました。昨年度は幹事会を複数回開催され、平成 28 年度通常総会は平成 28 年 5 月に開催されました。

各種調査の実施に当たっては、上記促進協議会の下部組織「営農検討部会」及び「環境配慮検討部会」において、関係機関、地元農家等の参画を得て進められています。

①営農検討部会

県、市町村、JA、地元農家代表等で構成され、本地区における営農計画の策定を目的に、平成 26 年 10 月に設立されました。第 2 回検討部会は平成 28 年 3 月に開催され、地区の代表作物の選定等について意見交換されました。平成 28 年度は、経営計画等について検討を行う予定です。

地区内の代表作物



▲水稻



▲大豆



▲にんにく

②環境配慮検討部会

県、市町村、有識者、地域住民等で構成され、本地区の環境配慮計画の策定を目的として、平成 27 年 5 月に設立されました。平成 27 年度は現地調査を含む計 3 回の検討部会が開催され、環境配慮調査方針（案）が作成されました。平成 28 年度は生態系調査及び景観調査を実施し、環境配慮基本方針（案）の検討を行う予定です。

業務紹介

～国営造成水利施設保全対策指導事業の実施状況～

国営造成水利施設保全対策指導事業では、土地改良長期計画に示す「農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を推進」するため、国営造成水利施設の機能診断等の業務を行っており、北奥羽土地改良調査管理事務所では、平成15年度より青森県内（一部岩手県含む）の国営造成水利施設を対象に、機能診断調査及び機能保全計画の策定を実施しています。

1. 平成27年度の実施状況

平成27年度の実施状況は以下のとおりです。

地区名	対象施設	実施内容
平川地区	虹貝頭首工、三ツ目内頭首工、大和沢頭首工	機能診断及び機能保全計画の策定
西津軽地区	東俣2号幹線用水路	機能診断及び機能保全計画の策定
浪岡川地区	浪岡ダム	機能診断
計3地区	計5施設	

(機能診断状況写真)



▲ゲート設備の機能診断調査（板厚測定：虹貝頭首工）



▲用水路の機能診断調査（概略診断調査：東俣2号幹線用水路）

2. 平成28年度の実施予定

平成28年度の実施予定は以下のとおりです。

地区名	対象施設	実施内容
西津軽地区	新小戸六ダム	機能診断及び地質調査
	廻堰導水路、桑野木田放水路	機能診断及び機能保全計画の策定
岩木川左岸地区	稲垣揚排水機場、生田揚排水機場	機能診断及び機能保全計画の策定
小田川地区	尻無頭首工、新河排水路ラバーダム、第1号幹線用水路	機能診断及び機能保全計画の策定
計3地区	計8施設	

※H28.3時点の予定であり、変更となる場合があります。